



調印式を終え、協定書を持つ高橋圭三学長(左)と大塚岩男会長(右)29日午前、松山市桑原3丁目

松山東雲女子大・短大 女性人材育成へ 連携さらに強化

県法人会連と協定

松山東雲女子大・短大と県法人会連合会との連携協定調印式が29日、松山市桑原3丁目の同大であった。両者は、地域子育てサロンの設置など以前から交流があり、人口減少などが進む県内の状況を踏まえ、女性の人材育成などで結びつきをさらに強める。

協定書では、地域活性化

促進▽人材育成▽教育、文化の振興▽地域における女性の活躍推進などで連携するとしている。

調印式後、高橋圭三学長は「法人会のネットワークもお借りし、四国唯一の女子大・短大として地域に貢献できる人材を送り出した」と意気込んだ。大塚岩男会長は「少子高齢化が進む中、女性の活躍はますます重要となる。次世代の女性を育てるよう共同事業を展開したい」と述べた。

(宇和上翼)